

2012

JAN. 1 vol. 31

東京成徳広報



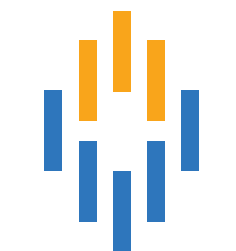
中高一貫部（中学）合唱祭



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	巻頭言「新年を迎えて」 副理事長 木内 秀樹	
P 4	学園の動き	
P 5	教育研究活動 より開かれた大学へ情報公表について— 大学 千葉、観光の魅力高校生フォトコンテスト 人文学部観光文化学科 手作り絵本コンクール 子ども学部子ども学科 「千葉のいまを知る」プロジェクト 人文学部日本伝統文化学科	
P 9	ひと『活躍する卒業生』 歌手 和久井彩世さん（深谷高校卒）	
P 10	社会交流 ボランティア部 中高一貫部・高等部 サッカー・フェスティバル 八千代キャンパス	
P 12	国際交流 千葉キワニスクラブ国際親善賞 八千代キャンパス	
P 13	就職状況	
P 15	TOPICS 大学院 八千代キャンパス 十条台キャンパス 短期大学 中高一貫部 高等部 深谷高校 幼稚園 第二幼稚園	
P 23	クラブ活動 など	
P 24	入試カレンダー・お問い合わせ先	



TOKYO SEITOKU

学園のシンボルマーク
「理想」と「若さ」を表す
ブルーの五本の柱は、五つの教育目標を
「活力」と「勇気」を表した
イエローの三本の柱は、学生・生徒と
教職員、同窓生を象徴しています。
そして、八つの柱が一体となり、
東京成徳と学園に集う人々の
ヒューマニティーを
作り上げる姿を表現しています。

表紙 東京成徳大学中学校（中高一貫部）合唱祭

フィナーレは3年生全員で課題曲「虹」を大合唱。
全校が盛り上がったクラスごとの素晴らしい歌声。合唱祭では各クラスが課題曲・自由曲の計2曲を合唱します。指揮者、ピアニストも曲ごとによびかえられます。クラス全員でハーモニーを懸命に作り上げ最優秀クラスをめざし、絆も強まります。
今年度は3年3組が最優秀クラスとなりました。



新年を迎えて

副理事長 木内 秀樹

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年とは日本にとって大変な苦難の年となりました。長びく景気低迷に加え、東日本大震災や福島原子力発電所の事故による被害は、私たちの心に今も重くのしかかっています。現在でも被災地の復興はまだ本格的にスタートしたとは言えず、被災された方々の困難も残念ながら解消されておりません。これから長期戦になりますが、すべての日本人が一致協力して、復興支援に思いをひとつにして取り組んでいかなければいけないと考えます。

もちろん復興支援は忘れてはいけません。新年を迎えたことですら、今年こそは良い年で迎えたいと願っています。

学園の発展のために

本学園は、本年度で創立87周年を迎えることができました。永い歴史の中で学園も発展をしてまいりましたが、本年も更なる充実を目指して新たな動きが始まります。

大学では、学部学科の再編成や定員変更などが予定されています。また、深谷高校では平成25年を目前に中学校新設を埼玉県に現在申請中です。そして、学園後援会では、佐々木富也氏から藪崎精克氏に会長が交代となり、新しいスタートが切られたところ。佐々木前会長には15年の長きにわたって会長をお務めいただき、学園全体の後援会の発展に大変ご尽力いただきましたことに心から感謝を申し上げます。

その他の部門でもさまざまな取り組みが予定されており、建学の精神と教育の原点を意識しながら、スピーディーな変化に対応できるようにしていきたいと考えています。

幸福になるために

皆さんにとって普段の生活の中で「大学に合格しました」とか、「就職が決まり社会人になります」など個人的に嬉しい出来事はいくつもあると思います。しかし、自分と日本の将来、そして世界的な情勢を考えた時、言い知れぬ不安を感じて

しまうのは私だけでしょうか。「これからどうなるのだろう」というのが正直な感想です。

私のように、もう既に人生の大半を過ごした世代は開き直っています。若いうちから、若い年代の人たちはこれからの生き方をどう考えたら良いのでしょうか。高度経済成長期のように夢と希望のエネルギーにあふれていた時代は、多少世の中にひずみがあったとしても幸せでした。なん

といっても、これから国が発展し自分たちの生活が豊かになることが実感できたからです。たとえその時の生活水準がたいしたことにならなくても、将来の向上が期待できればそれだけで満足で幸福になれるものです。今のうちに国力や国民の生活水準が世界のトップクラスであっても、先行きが不透明で生活水準の低下が予想される場合には気持ち落ち込むのは当然でしょう。若者たちの意欲や向上心の欠如といった傾向に表れてくるような気がします。

アランに学ぶ

昨年NHKテレビで放送された『100分de名著』という番組でアランの哲学者アランの思想について取り上げていました。今の時代にもとても参考になるのでここに紹介したいと思います。

アランはその著作『幸福論』の中で幸福になるための考え方として、次の3つをあげています。

① 悲観主義は感情で楽観主義は意志による。

② 幸福になりたいと思ったらそのために努力しなければならぬ。

③ 喜びは行動とともにやってくる。

つまり悩んでいるよりもまず行動せよ、幸福は行動の中にしかないということをお説いているのです。

そして、幸福になる方法として、「主役になれ」という言葉も残っています。これは決してリーダーとしての役割を果たせということではなく、自分の人生における主役になれということを言っているのです。命ぜられてやる受動的な行動ではなく自ら進んで行う能動的な行動であれば、たとえ行動に伴う困難があっても人間は幸福である。「山頂まで登山電車できた人は、登山家と同じ太陽を見ることはできない。」という言葉には説得力があります。そして、気持ちの持ち方として「幸せだから微笑むのではない、微笑むから幸福なのだ」というアランの言葉にも共感できるものがあります。

アランの言っている幸福になるための、「意志」と「行動」の重要性をぜひ考えてみてはいかがでしょうか。

学園の動き

大学子ども学部子ども学科 平成24年度より小学校教職課程を設置し入学定員も140名に増員（申請中）

本年4月から小学校教職課程の設置と入学定員を90名から140名に増員する申請を、昨年度科学省と関東信越厚生局に行いました。現在は認可を待ちつつ、140名に増える学生を迎える体制を整えています。

平成16年の学部設置以来、子ども学部は多様化し複雑化する現代の子どもに関わる諸問題を総合的に教育、研究することを目的とし、子どもの成長に貢献する人材を育成してきました。なかでも乳幼児期から児童期までを主たる対象としており、その結果、幼稚園教諭や保育士として就職する学生が数多くいます。

しかし、近年の学校教育の諸問題は、子どもの成長に密接に関連していることは明らかであり、子どもを取り巻く教育環境についての深い認識や学齢期の子どもの対象とする社会教育との連携の担い手として、幼稚園や保育所と密接な連携が

できる小学校教員の養成が強く望まれています。

これまで子ども学部では玉川大学通信教育部との連携によって在学中に小学校教諭二種免許状を取得できるプログラムを設けており、修了者が小学校教員として就職した実績もあります。しかし、在学中のプログラム履修は時間的及び経済的な負担が多く、なおかつ小学校教諭二種免許状に限定されることから、子ども学部において小学校教諭一種免許状の取得を希望する学生の声が多く寄せられるようになっていました。

このような学生の要望に応えるとともに、今日求められる教員の養成のため、子ども学部において小学校教諭一種免許状を取得できる教職課程を設置することとなりました。これにより子ども学部では、幼稚園・小学校教諭一種免許状及び保育士資格取得が可能になります。

また、入学定員を50名増員することにより、より多くの志願者を、迎えられることができます。

大学応用心理学部健康・スポーツ心理学科 中学校・高等学校（保健体育） 教職課程設置（計画中）

平成21年の学科設置以来、新しくユニークな分野の特長が受験生の共感を呼び、多くの志願者を集めています。

卒業後の進路は、企業やスポーツ施設での健康管理などが考えられますが、新たに平成25年度入学生から中学校・高等学校教諭一種免許状（保健体育）の教職課程を設け、中学校や高等学校の保健体育教諭としての進路を構想しています。

また、本計画にあわせて学科の入学定員の増員を計画しています。

深谷高校 東京成徳大学深谷中学校 創設準備中

深谷高校では、創立50周年の平成25年の開校を目標に東京成徳大学深谷中学校の創設準備を昨年からはじめました。

私立中学校のない埼玉県北の深谷市、熊谷市において深谷高校との中高一貫教育を実施します。また、新たに4階建ての中学校校舎を建築し、より一層の教育環境の充実を図るとともに、東京成徳学園の建学の精神に基づき、特色ある教育を実践します。

学園人事 平成23年8月～平成24年1月

採用

職員	所属	氏名	配属・役職
教員	大学	今 防人	人文学部観光文化学科教授
職員	大学八千代事務局 短大事務局	川 嶋 浩子 深 山 静夫	教務課長
職員	大学十条事務局 短大事務局	高 田 友 貴	入学課

退職

職員	所属	氏名	配属・役職
教員	幼稚園	高 木 絵 美	教諭
職員	大学八千代事務局 大学十条事務局 短大事務局	中 村 朗 北 野 傳 二 西 澤 三 恵 子	教務課長 教務課長 総務係長（図書館）※引き続き兼務職員として勤務

異動

職員	所属	氏名	配属	前任
職員	大学十条事務局 短大事務局	石 代 哲 久 坂 尾 麻 衣	学修支援課 総務課	入学課 教務課

より開かれた大学へー情報公表についてー 大学

大学では平成23年4月から、教育研究に関するさまざまな情報を大学のホームページ上に公表しました。これは、大学による教育情報の公表を、学校教育法で義務化されたことによるものです。東京成徳大学は、情報の公表により、広く社会への説明責任を果たすとともに、受験生から選ばれる大学を目指して教育研究の質の向上に努めます。

背景

大学の教育研究情報の公表にかかる法制は、平成11年に改正された「大学設置基準」に遡ります。その後、自己点検評価と公表の義務付け（平成16年）、公表項目の例示（平成17年）、学部学科の人材養成目的・シラバス・成績評価基準などの公表（平成20年）、そして平成23年の学校教育法施行規則の改正による今回の公表義務化へと続きました。

これら法制による大学情報の公表義務化は、少子化に伴う「大学全入時代」を迎えて、大学の質保証を担保するための社会的な要請に基づくものと言えます。

本学の対応

情報公表の大学の取り組みについて、本学ではいち早く、自己点検評価結果の公表を実施しました。平成20年に第三者評価を受審した際、そこで求められた自己評価報告書及びデータ編をそのままホームページ上に公表しました。特にデータ編には、今回義務付けられたものと同じ項目の内容が種々掲載されていきました。

着目して、「わかりにくい」、「探しやすい」ということのないように公表の方法を工夫し、大学トップページから「2ポチ」で目的のデータに到達できる仕組みとなっています。また、日本私立学校振興・共済事業団から示された補助金にかかる公表項目のガイドラインに準拠して公表しており、求められた公表項目のほぼ全項目をカバーしています。

公表する情報

大学が公表すべき情報は、学校教育法施行規則第172条の2により、左のとおり規定されています。この施行規則の規定に基づいて

公表を求められる情報 (学校教育法施行規則第172条の2)

1. 大学の教育研究上の目的に関すること
2. 教育研究上の基本組織に関すること
3. 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること
4. 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること
5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること
6. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること
7. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること
8. 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること
9. 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

今後の課題

各大学は情報の公表を行っていますが、どのような様式で公表するか、例えば「教員数」を学科別に記載するか、年齢別に記載するか、等は、公表の趣旨を踏まえて大学の裁量とされています。本学では、これらの情報に加えて「学生が修得すべき知識や能力に関する情報」（努力義務）や「財務情報」も公表しており、情報の公表に関する事項は、大学運営委員会（全学会議）で審議することとしています。

情報の公表制度は、始まったばかりであり、第一の課題は、その精度を高めて「わかりやすい情報」を「容易に提供」できるようにしなければなりません。

第二の課題は、公表された数字やデータの意味するところを正確に分析し、これを教育研究の改善や制度改革に繋げて大学の質の向上に役立てることです。

これからは、公表されたデータが受験生の大学選びの重要なファクターになります。受験生に「わかりやすい情報」を公表できるよう、頑張ってください。

千葉、観光の魅力
高校生フォトコンテスト 人文学部観光文化学科



上段右：最優秀賞「羽ばたく」高橋薫さん
上段左：優秀賞「のほほん昔町」熊木清斗さん
下段右：選考作業
下段左：優秀賞「夜空に輝く」千葉玄さん

『観光の視点から《千葉の魅力》を再発見していきましょう。高校生から見た《観光立県千葉》とは、どんなものでしょうか？皆さんが撮った、千葉県の観光の魅力を伝える写真を募集します。全国の高校生の皆さん、ふるって応募ください。』

今回で第2回目となる観光文化学科主催による「千葉、観光の魅力 高校生フォトコンテスト」のポスターには、前年度の入選作品の写真の脇にこう書かれています。

今年度は、千葉県観光協会、千葉市観光協会、鎌ヶ谷市、八千代市、鎌ヶ谷市教育委員会、八千代市教育委員会、近畿日本ツーリスト(株)千葉教育旅行支店、観光経済新聞社などの後援を受けて実施されました。

今年度も、個性豊かなものや芸術的なもの、高校生らしさの感じられるものなど、様々な表現あふれる力作が多数(63点)寄せられ、その中から千葉県の観光の魅力を伝える写真として、次の点に注目し、受賞作品を選定しました。

*その土地の観光文化を表現しているもの

*見ることによつて行つてみたい
なと思えるもの

*高校生の目で見た新鮮な「観光立
県千葉」を表現しているもの

*観光の視点から「千葉の魅力」を
表現しているもの

選考の結果、最優秀賞には、千葉県立鎌ヶ谷高校高橋薫さんの作品「羽ばたく」、優秀賞には、八千代松陰高校千葉玄さんの作品「夜空に輝く」と千葉県立実光高校熊木清斗さんの作品「のほほん昔町」の2点が選ばれました。さらに、入賞作品24点選ばれました。

このほかに、鎌ヶ谷市および八千代市の市長賞・教育長賞が選定されました。

受賞者の皆さんへの表彰式は2月に本学の八千代キャンパスで行い、最優秀賞受賞者には、旅行券、そして、入賞者全員に賞状と鎌ヶ谷市からご提供の「鎌ヶ谷ふるさと産品」詰め合わせが贈られます。

また、入選作品の展覧会が、八千代市内のショッピングモールで開催される予定です。入選作品の写真は、観光文化学科のホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。



【大学生の部】学長賞
『のぞいてみよう』近藤駿さん



【高校生の部】学長賞
『どうしてぼくはこの大ききなのだろう』高草木楓さん



授賞式に参加された皆さん



応募作品（一部）

第2回東京成徳大学子ども学部
手作り絵本コンクール
子ども学部

柔らかく温かい応募作品

今回の手作り絵本コンクールには、一般の高校生と在学生から多数の作品の応募があり、10月21日に行なわれた厳正な審査の結果、高校生の部で4編、大学生の部で7編の入選作が決まりました。応募してくださったみなさんの作品を通して、高校生の柔軟な感性に基づいた独創性に感心させられたり、大学生の思索的な深みを感じさせる作品に魅入られたり、作品を心の底から楽しんで作っている様子に共感させられたりしながら、高校生と大学生が持つ可能性を感じることができました。総じて、柔らかく温かい絵本が多数出品されていることが目立ちました。

11月20日のオープンキャンパスで表彰式を行い、受賞者に賞状と副賞の図書カードが贈呈されました。表彰式会場となった十条台キャンパス多目的ホール前には、受賞作品が展示され、オープンキャンパスに来場した多くの高校生や付き添いの方々、興味深そうに熱心にご覧になっていました。「来年は応募してみようかな」と友だち同士で話す高校生の姿も見られました。

広く学部の特徴を

少子化の中で、各大学はさまざまな広報活動を行い、知名度を高める努力を行っています。本学部も、乱立する幼児教育系の大学の中で埋没しないように、知名度を高める努力が求められています。

子ども学部では、幅広い領域から子どもについてアプローチするカリキュラムが展開されています。特に、絵本に関しては併設の図書館とも協力してその収集や研究に力を入れています。そこで、そうした学びの特徴と関連させて、子ども学部の特色を広く知っていただくことを目的に、絵本コンクールをより一層充実させていくことは、教育内容に連動した広報戦略としてきわめて有効だと考えています。子ども学部への進学は、中学生の時の職場体験がきっかけになったという受験生が多数存在します。そうしたことを考えると、将来的には、中学生まで応募対象を広めることも検討の余地があるかと考えています。

絵本コンクールを毎年開催し、子ども学部の学びの特色を多くの人々に知っていただく努力を引き続きして参りたいと思っています。

「千葉のいまを知る」プロジェクト

人文学部日本伝統文化学科

千葉の魅力を発信！

「道の駅」を調査研究

この「千葉のいまを知る」プロジェクトは平成19年に発足し、八千代キャンパスのある千葉県の現状を学び、地元の人材を還元したいという目標を持ったプロジェクトです。活動は地元千葉で活躍されている方のお話を聞いたり、千葉県の産業や観光の現状、まちおこしなどの特徴を調査研究しています。

一昨年より、千葉の「道の駅」をテーマに、その特色や地域での役割などを調べその一端を昨秋の翠樟祭で発表しました。



翠樟祭での展示

去年は南房総方面をバスで巡り、平成22年度は約52万人の利用者があつた海型リゾート公園「鴨川オーシャンパーク」、県内では最大の動植物園が併設されている「南房バラダイス」、中世ヨーロッパの世界をコンセプトとした「ローズマリー公園」などの実地調査を重ねました。

調査の準備段階からそれぞれの道の駅の問題点を掘り下げ、丁寧な調査を心がけて現地で調査を行いました。

道の駅では経営状態や抱えている問題など、とても親切に対応していただき、ホームページや施設をただ見るだけではわからないことを知ることができました。そして、成果を発表し、千葉の魅力を伝えられたいのではないかと思います。



ヒアリング調査

昨年8月現在全国の「道の駅」は977駅もあり、千葉県では22駅が登録されています。そのうちこのプロジェクトでは累計15カ所を調査しています。しかし、「道の駅」の地域への貢献は観光客の誘致、地域の雇用促進と地域の農業、漁業などの産業の活性化に寄与していることが明らかにになりました。

森田知事自らが広告塔となり千葉県の観光・物産などをPRしますが、このプロジェクト活動が情報発信基地となって周辺の文化や歴史と魅力ある地域情報など「千葉のいま」を発信することを目指しています。



ローズマリー公園



調査メンバー

プロジェクトの活動はブログ「千葉のいまを知る」において活動成果と情報の発信をしています。

<http://blog.livedoor.jp/chibaima/>

千葉のいまを知るプロジェクト
東京経済大学日本伝統文化学科が、大学のふるさとを学ぶ、観光に人材を還元したいという目標を掲げ、地元千葉の現状を学び、地元の人材を還元したいという目標を持ったプロジェクトです。

1 2 3 4 5 - 活動レポート 001

2011年12月24日 23:00 千葉県 千葉の魅力を発信

赤い帽子

ツリーやイルミネーションもあちこちで盛りだくさんクリスマス色ですね。今年は23日～25日まで3連休の方も多く、クリスマスを満喫されているのではないのでしょうか(´▽｀)

さて、我が「千葉いま」にも、サンタさんからではないですが、真っ赤なプレゼントが届きました！

とうとう、チーバくんが正式に千葉いまに参りましたっ！
実は、今までの学園祭の展示のチーバくんは借りておりました(汗)

「千葉のいまを知るプロジェクト」と名乗るからには、旗のマスコットは持っていたいのですがね！

ひと

『活躍する卒業生』

深谷高校

(平成19年3月卒業)

歌手 和久井 彩世さん



和久井さんは平成22年11月18日にデビュー曲「For your way」がJ OYSONDの着うたフルダウンロードサイトから配信され、デイリーランキングで2位になるという素晴らしい実力の持ち主であり、現在は出身地熊谷市のミニFM放送局熊谷ヤバイラジオ88.1「おさよですすよ」の番組パーソナリティを務め、アキバ(東京・秋葉原)や近隣のイベントに出演し、活躍されています。

Q. 音楽を好きになったきっかけ、歌手を志した動機は

私は3歳の時から母親に連れられてクラシックバレエを習ってい

ました。小さい時から人前で踊ったり、歌ったり、おしゃべりをしたりすることが大好きでした。

高校の時、音楽の授業では先生に褒めていただいたことがとても強く印象に残っています。

また、短い期間ですが軽音楽部に入っていて、ボーカルやギターをしていました。在学中に、東京のプロダクションのオーディションに合格したこともあります。

私は子どもが大好きだから、高校卒業後は児童養護施設に就職しました。しかし、仕事に慣れてくると歌手になりたいという思いがだんだんと強くなってきました。初心を叶えようと、ボーカル教室へ週1回通いボイストレーナーから指導を受けることをはじめました。

歌唱力を向上させると同時に、自分が心をこめて歌う歌詞にもっと表現とことばを豊かにするために読書にもかなり時間を割き、自分で作詞することになっています。

何度も何度も考え直した自分の歌詞でデビューできたなんて最高です。バラードなので、情感をこめて歌いました。

タイトルは英語ですが、歌詞の一

部をご紹介します。

「For your way」

無くしたものもあつたね
でも君の「大丈夫だよ。」

それだけで 泣きそうになる
それでもいつかまた壊れて
しまうなら
その心は私が守るよ

この曲はボイストレーナーの周藤浩一先生に作って頂いたのですが、丁度この曲が出来あがる頃エクシング・ミュージックエンタテイメント(XME)からお話をいただきUSボーカル教室との共同企画でデビューさせて頂いたことが決まりました。決まった時は家族で大喜びしました。早く2曲目を吹き込みCDを出したいと思っています。

Q. 高校在学中の思い出は

私は陶芸が好きだったので学校の窯でいろいろな作品をつくりました。友人はきわめて常識的な形の作品なのですが、私の作品はサラダボールやお皿などすべてハート形につくったので先生がびっくりしていました。

英語も大好きで、クラスで一番になったこともあります。

Q. 後輩へのメッセージ

いろいろな経験を沢山してほしい。「失敗は成功のもと」、もし間違ったことをしても、それをいつか省みた時に成長でき、人間として深みが出てくると思います。



松本教頭先生、和久井さん、野村先生、植野先生

担任をされた野村先生(談)

とても明るく元気な生徒の印象があります。

文化祭での「たこ煎餅」では、先頭に立って前売り券を売っていた姿を今も覚えています。また、世話好きな一面もあり、よく友達の相談にもものついていたようで、皆から好かれていました。

社会交流

中高一貫部・高等部

ボランティア部

社会の状況を敏感に受け止め、様々なボランティア活動を続けて来たボランティア部。東日本大震災では部員から「被災地でのボランティアをしたい。」との声が上がリ、昨年8月、岩手県陸前高田市と大槌町においてボランティア活動に取り組みました。

幅広い活動

校内ではエコキャップ回収運動を行っており、週1回各クラスや自動販売機に設置してある回収ボックスからペットボトルのキャップを回収し、まとめてNPO法人エコキャップ協会に送っています。今では送ったペットボトルキャップの個数が累計で10万個を超えました。これで約130人分のポリオワクチンを購入することができ、子どもを命を救うことができます。

その他にも、ベルマークや書き損じはがき集めを部員が発案し、ポスターを作成し全校に呼びかけたり、小学校での点字学習の支援なども行っています。

ニュージールランド地震では、救援募金を行いました。特にニュージールランドは中高一貫部の短期留学先で友人も滞在しているという繋がりから、取り組みにより一層の力が入りました。

校外では福祉施設や保育所、学童クラブでボランティアをしています。夏のこひつじ保育園ではプールの準備、園児との遊びなどを行い、園児たちを入園時から3年間もみている部員は、園児の成長を見て充実感を感じるとともに、保育士になりたいという将来への希望をより強くしました。

墨田区の立川児童館学童クラブ中和分室において昨夏は、11日間9名の部員が館外への外出、掃除、ポスター作成など様々な活動をし、学童クラブ職員一同から感謝の手紙が送られました。

しばらく会わなくても子ども達も名前を覚えてくれるなど充実したボランティアができたようです。

東日本大震災

生徒会と協力して、校内で募金活動を始めました。また、大宮駅前での他の団体の街頭募金に参加し、「最初は一寸恥ずかしかったけれどす

ぐ慣れて、心をこめて募金をお願いした。」という部員もいました。

「被災地でのボランティアをした」という部員の声から顧問の小野寺先生の尽力により「遠野まごころネット」を通じて被災地でのボランティアができることになりました。被災地に行くということで準備は慎重に行われ、校内での検討を重ね、参加者の保護者に詳細な説明と承諾を得るという確実な手順が踏まれました。

「時間や状況が許す」できる者が行うというボランティアの基本のもと、岩手県に向かったのは6年生(高3) 8名となりました。

東京から岩手県の遠野市に入り、初日は、「遠野まごころネット」のオリエンテーションに参加。活動1日目はバスで陸前高田市に向かいました。車窓から悲惨な被災現場を目の当たりにし、「ここに町があつたとは思えない。心が病んだ、涙が出てきた。」と部員の一人は感想をもらいました。

陸前高田市では、農地において津波で破壊され流された家屋のがれきの撤去や悪臭のする泥のついた木材の除去などを行いました。がれきの中から家族4人が写った写真

シールを見つけ、その意味の重さを実感した部員もいました。

2日目は大槌町の江岸寺へ。お盆が目前なので、墓地をきれいにしたいというお寺の依頼でがれきの片付けなどを行いました。



墓地での活動

「遠野まごころネット」では、大學生のボランティアが多く、県外からの高校生のボランティアが少なかったためか共同通信社の取材がありました。江岸寺での活動中の写真などが全国に配信され、東京新聞と岩手日報に「東京成徳高のボランティア部」の活動が、記事に掲載されました。

2日間という期間でしたが、部員は貴重な体験をさせてくれた遠野まごころネットへ、感謝の寄せ書きの色紙を贈りました。

9月の文化祭では、岩手に行けな

かつた部員も含め、ボランティア部の活動を報告するとともに復興支援のための募金活動を継続しました。また、生徒会からバザーの売り上げを預けられ、それに募金を加えて、活動を実感し、実態のわかるボランティア団体の「遠野まごころネット」に寄付をすることを部の意志で決定し、寄付をしました。



「遠野まごころネット」にて

部員は将来の夢や身近な出来事をきっかけとしてボランティア部に入部し、ボランティア活動していきます。ボランティアを体験し「保育士志望なので、子どもたちと接するだけでなく保育士の仕事内容がよ

く理解できた」、「園児たちの待つたよ」の一言が印象に残る」と将来に對し手応えを感じ、「少しでも役に立てるかどうか、まずやってみないとわからない」、「すごく役に立ったわけではないが、なんらかの力になれる。ボランティアの力は凄い」と社会に向かうたくましい力を養うことができたようです。

そして部には、「自分たちの代で部がまとまり、皆が協力してくれた実感はある」、「部をつぶさないようにして欲しい!」などと愛着を口にしていました。部員たちはボランティア部を通しての成長を実感させてくれます。

3月に卒業する部員は、大学に進学してもボランティアサークルや個人としてボランティア活動を続けていくことを心に決めていくようでした。

生徒による被災地での活動

4年生(高1)の田村元暉さんは中学3年生の春休み、宮城県石巻市に単身向かい、ボランティアを行いました。帰郷後も、自ら体験した活動について校内でパネル展示を行いました。その行動を称え、ボランティア・スピリット賞のブロッ

ク賞を受賞し、表彰されました。男子サッカー部は夏の仙台遠征中に石巻市の水産加工会社において津波によって流出し、泥だらけとなった缶詰の洗浄を行いました。その行動を称えボランティア・スピリット賞の感謝状をいただきました。

※ボランティア・スピリット賞とは、世界最大の金融サービス機関であるプルデンシャル・フィナンシャルが、青少年のボランティア活動を称え、情報の交換、発信により活動を応援する賞(アワード)です。

八千代キャンパス

**第1回東京成徳大学
サッカー・フェスティバル**

10月29日、30日の「翠樟祭」期間に高校チームを招待し、①サッカーを通じて地域交流を図る、②参加選手の個人能力とチーム力の向上に寄与する、③チーム相互の交流を促進する、④本学スポーツ施設の有効利用、などを目的に開催しました。

初日は男子(東京成徳大学高、東京成徳大学深谷高、関東第一高、千葉経済大学附属高)、2日目は女子(宇都宮文星女子高、花咲徳栄高、

村田女子高、成田国際高)の合計8チーム、総勢172名の高校生が千葉県はもとより東京、栃木、埼玉から集まりました。

澄み渡る秋空のもと、どのチームも日頃の練習成果を確認しながら目指すサッカーを追及し、迫力のあつた試合をしました。ボールを追う高校生を見てみると、開催目的がほぼ達成されたように思います。各チームの顧問には照明付きのグラウンドを高く評価していただきましたが、今後は、プレー環境の整備も含めより良いフェスティバルにしたいと考えています。今回、学園の東京と深谷の高校が初めて大学グラウンドで対戦する機会となりました。ご尽力いただいた関係各位に感謝申し上げます。

なお、30日に「千葉県Uサッカー女子選抜選手育成・強化練習会」も開催し、なでしこを目指す選手たちのスキルアップを図りました。



国際交流

大学八千代キャンパス

千葉キワニスクラブ国際親善賞 留学生2名が受賞



民間の社会奉仕団体「千葉キワニスクラブ」が、日本との友好親善に尽した留学生を表彰する「第7回国際親善賞」に、応用心理学部の留学生2名が選出されました。



最優秀賞の洪承姫さん

今回は「私の見た日本」というテーマで論文募集が行なわれ、臨床心理学科1年の洪承姫（ホン・スンヒ）さん（韓国）は「ルールを守る日本人」という論文で見事、最優秀賞に、臨床心理学科2年の成珍姫（ソン・ジンヒ）さん（韓国）は「かんばんレニッポン」という論文で、優秀賞を受賞されました。

八千代キャンパスでは、人文学部の周建中教授や留学生向けの特設科目担当の越智加代子先生（非常勤）を中心とした先生方の熱心な指導により、毎年多数の留学生が応募し、優秀な成績をおさめてきました。



優秀賞の成珍姫さん

「優秀賞」の受賞は平成18年度の第2回以降、今回で連続6回目となり、初めて栄えある「最優秀賞」の受賞となりました。本学で学ぶ留学生の熱心な学習意欲の結果が現れていると思います。

今年の国際親善賞受賞者は、共通して東日本大震災に触れ、留学生の視点から日本人の姿・強さを論文としてまとめています。

7月1日に千葉市で行なわれた授賞式では、千葉キワニスクラブ国際親善賞選考委員長から「日本での体験を将来、また母国に戻った時に活かしてほしい。日本と母国の相互

理解の架け橋になって下さい」とのお言葉がありました。

受賞された洪さん、成さん自身にとって、また大学で勉強する他の留学生の皆さんにとっても今回の2人の受賞は大変意味のあるものだと思います。この受賞を機に、さらに大学での勉学に励み、将来は日本と海外の架け橋として活躍してほしいと思います。

応援しています!!

※「キワニスクラブ」

キワニスの名称は、アメリカ原住民の「みんな一緒に集まる」という意味を持つ言葉に由来しています。世界90カ国以上に8,600以上のキワニスクラブがあり、約27万人が、国際キワニスを構成しています。

現在、日本には主要都市に28のクラブがあり、会員総数は1,600名となっています。社会貢献活動や教育文化活動を地道に行っている団体や個人に対する協賛、留学生に対する支援活動などに取り組んでいます。

就職状況

今年度の就職状況は、特に一般企業が一昨年以来の雇用の縮小に伴う厳しい状況が続き、昨年度同様にこの時期（11月）でも未決定者がいます。長期に渡る就職活動になりそうですが、大学は最新の具体的な情報を提供して支援をしています。

短大の就職状況

幼児教育科は例年同様に約95%の学生が就職（保育士、幼稚園教諭）を指しており、11月が活動のピークです。9月終り頃より徐々に内定者が出て来ており、例年並みの内定率は確保しそうです。

言語文化コミュニケーション科はほとんどの学生が一般企業向けの活動をしていきますが、こちらは前述の厳しい状況の中で未決定者は諦めずに熱心に努力を続けています。

短大の就職プログラムは、言語文化コミュニケーション科は1年生の後期、幼児教育科は2年生の前期を中心に実施されており、さらに夏季には公務員試験、国内旅行業務取扱管理者等の対策講座を行い実際の活動に備えています。

平成23年度 短大就職内定先（一部）

赤羽歯科、ANA FESTA ㈱、埼玉トヨペット㈱、㈱ジェイ・エス・エス、東芝テックソリューションサービス㈱、㈱東横イン、㈱なとり、日本アンテナ㈱、板橋区保育士、杉並区保育士、熊谷市保育士、久喜市保育士、愛知幼稚園、黒田幼稚園、赤羽幼稚園、川口ふたば幼稚園、塩浜幼稚園、西三田幼稚園、法善寺保育園、西糀谷一丁目保育園、大宮つぼみ保育園、豊春中央保育園、前沢幼稚園保育園 等

内定者インタビュー

言語文化コミュニケーション科

堀内 麻子さん



日本アンテナ㈱内定

Q. 職種や業種の絞りこみは？

入学前から将来は事務職に就きたいと考えていました。業種は絞っていませんでした。少しでも興味を持った会社の説明会に参加し、自分に合う会社を探しました。

Q. どのように活動しましたか？

本格的に始めたのは1年生の3月後半からです。はじめは履歴書を書くことに重点を置き、春休みは学生生活課に通い履歴書についてのアドバイスをもらいました。次に様々な会社の説明

会に参加しました。業種を絞らず、事務職の募集があれば、とにかく説明会に参加し、興味の持てた会社を受けました。

Q. 特に力を入れた科目は？

パソコン関係の授業です。事務職志望だったので、パソコン関係の資格（日本語ワープロ検定、文書デザイン検定、プレゼンテーション作成検定）を取得しました。その他に社会人になった際に役立つと考え、ビジネス能力検定、日本漢字能力検定、秘書技能検定の資格を取得しました。履歴書や面接で資格について問われることが多かったので、就職活動でも強みになりました。

Q. これからの抱負を

残り少ない学生生活は、今まで学んだパソコンスキルをさらに伸ばすよう勉強し、社会人になるという自覚を持って有意義に過ごして行きたいと思っています。

大学の就職状況

人文学部・応用心理学部

今年度は東日本大震災の影響で一部大手企業の内定時期が数箇月遅くなり、中堅・中小企業を目指す学生にも影響が出たのではないかと感じています。大企業に比べて中堅・中小企業は求人倍率が高く内定をとりやすいイ

メージがありますが、実際は採用人数が少ない企業ほど厳選採用の姿勢が強く、内定をとるのも容易ではありません。やはり基本に立ち返って、自分の強みはどこにあるのか、入社後はどのような強みを活かしてその企業に貢献するのか、といった点をしっかりと説明できるように事前に準備しておくことが大切だと思います。3年生のうちから履歴書・エントリーシートの手書き方の指導などでこの点には力を入れてきましたが、まだ活動中の4年生はぜひもう一度見直してみてください。きつと今までの就活経験が糧となり新しい強みや魅力が見つかるものと思います。

残念なのは就職試験の結果が出ないために、キャリア支援担当から足が遠のいてしまった学生です。求人数は減ってはいるものの毎日新しい求人情報が寄せられています。一緒に企業を探しましょう。

一人ひとりの希望の進路を見つけるためにキャリア支援担当は最大限の努力を致します。きつと卒業時までは内定率も全国平均を上回っているものと信じています。

子ども学部

教職（保育士、幼稚園教諭）の分野

は短大幼児教育科と同様に11月が採用活動の最盛期となっており、例年どおりの順調な動きで推移しております。一般企業向けの就職を目指している約10%の学生は、他の学科と同様に厳しい環境の中でまだまだ頑張っています。

子ども学部就職支援プログラムは3年生の前後期に小学校、幼稚園、保育園等のコース別に分かれて学生一人一人に合った指導を心掛けて実施しています。

平成23年度 大学就職内定先（一部）	
〔人文学部・応用心理学部〕	(株)鹿島建設、(株)黒雅叙園、(株)キャメル珈琲、(株)ノジマ、(株)ポイント、(株)くすりの福太郎、(株)ニチイ学館、千葉県社会福祉事業団、(福)慶美会、(株)東京証券、東武トラベル(株)、(株)東光電気工事等
〔子ども学部〕	エフ・コーポレーション(株)、マザウェイズ(株)、リそなグループ、文京区立幼稚園、裾野市立幼稚園、豊島区保育士、世田谷区保育士、松戸市保育士、三尻こども園、牛島幼稚園、小学館アカデミー保育園等

内定者インタビュー

応用心理学部臨床心理学科

小西 沙知子さん



(株)ピーターパン 内定

Q. 就職活動を振り返って

スタートが遅れてしまいい活動を始めたのが、3年生の2月からで、決まったのが4年生の9月でした。途中東日本大震災もあり、とても長い就職活動だと感じていました。

Q. どのように活動しましたか？

エントリーは、30社程度と多くはありませんでした。始めはリクナビやマインナビから希望の業種の会社にエントリーをしていたのですが、ほとんど面接に進むことができず、かなり落ち込んでいたのですが、そんなときキャリア支援担当に相談して求人を紹介して頂きました。その中から10社程度面接に進むことができ、9月に内定を頂くことができました。企業規模は大きくありませんが、社長の社員教育に掛ける情熱が非常に強く自分が成長できると感じ入社を決めました。

Q. 先輩の皆さんにアドバイス

まず筆記試験対策は重要だと感じました。SPI2とは限りませんが、どの会社でも一般常識試験は課されました。参考書や問題集を数冊読んで、基本的なことを押さえておく必要があると思います。適性検査では自分を飾らず正直に感じたままを答えるほうが、結果が良かったように思います。また集団面

接もありますので、練習をしておくといと感じました。

なかなか結果がでない就職活動はとても大変ですが、あせらず自分のペーを崩さないで取り組めばきつといい会社に出会えると思います。皆さんのご健闘をお祈りいたします。



文京区立幼稚園 内定

子ども学部子ども学科
中郡 恵子さん

Q. いつ頃から幼稚園教諭を目指しましたか？

幼稚園の頃から変わららず、幼稚園教諭になることが夢でした。大学に入り、講義や実習を通して、ますます幼稚園教諭になりたい気持ちが増し、教員採用試験に挑戦しようと決めました。

Q. どのように勉強しましたか？

3年生の冬頃から、公立保育士の試験対策も加えて、勉強をしました。一週間ごとに、やらなければならぬことを明確にし、計画をたてながら進めて行きました。

保育雑誌を読むことや、文部科学省や厚生労働省のホームページを見るなど、参考書だけではなく、様々な知識

や情報を得るように心掛けました。

苦手な論文は、先生方に何度も添削して頂き、少しでも苦手意識を取り除くように努力しました。論文文は、早めに手を打てば、その分早く確実に自分の物になって行くと思います。

Q. これからの抱負を

まだまだ未熟な部分も多々ありますが、失敗を恐れず、しなやかに、いつでも変化に対応できる姿勢を持ち続けたいと思います。そして、幼稚園児一人一人に目を向けながら、どの子どもからも信頼してもらえらる幼稚園教諭を目指したいと考えています。

Q. 先輩の皆さんにアドバイスを

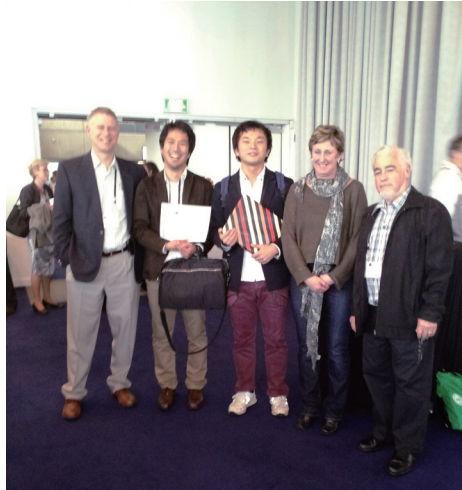
「やってみなければわからない」。私はこの思いを心に込め、採用試験に挑戦しました。辛いこともたくさんあると思います。しかし、諦めずにコツコツと積み重ねた努力は、必ず報われると信じています。

「長い人生の中で、今勉強している時間なんて、ほんの少しの時間だね。」と同じ目的を持つ仲間と話したことを思い出します。最後まで諦めず、チャンスを掴んでください。皆さんを応援しています。

〔八千代キャンパス学生支援課
十条台キャンパス学生生活課〕

大学院

世界サイコロセラー会議において
ポジティブ心理学に関する発表で
最優秀ポスター賞を受賞



授賞式での浅野助教（真中）と北翔大学の川崎講師、WCP2011 コミッティーのメンバーの先生方

Japanese college students.

というもので、小玉正博教授が研究代表者として科学研究費補助金「ポ

ジティブ心理学モデルによる人間力育成のための心理教育的介入法の開発」(研究課題番号22330193)の交付を受けて実施している研究プロジェクトの中の一部です。今回は、日本人大学生を対象に行ったポジティブ心理学の介入プログラムを紹介するものでした。介入効果を紹介する発表や、プログラムの内容を紹介する発表を含め合計して5つの発表を行いました。その結果、一連の研究成果と発表が評価され、最優秀ポスター賞(Best Poster Award)を受賞することができました。

本学心理学研究科の石村助教、浅野助教が健康・スポーツ心理学科の羽鳥助教、筑波大学人間総合科学研究所の小玉正博教授、北翔大学人間福祉学部の川崎直樹講師、国立精神・神経医療研究センターの伊藤正哉研究員とともに8月にオーストラリアのシドニーで開催された世界サイコロセラー会議(World Congress for Psychotherapy)にて研究発表を行いました。

発表題目は
“Culturally sensitive positive psychological intervention among Japanese college students.”

1998年にセリグマン博士が提唱した心理学の新しい分野で、人間の持つ本来的な強さに注目し、より生き生きとした生き方を旨とした

めの研究を行います。たとえば楽観主義、満足感、幸福感、笑いといったものから、勇気、愛情や思いやりといったものまで様々なものを研究の対象としています。この研究でも自分自身の強みに注目し、感謝を行うといったワークを全5回のプログラムに組み込みました。

第1回では心のセリフに関するワークを実施しました。例えば、失敗をしてしまった時には「自分はダメだなあ」というセリフが頭に浮かぶかと思えます。こうしたセリフは私たちが落ち込ませるだけでなく、再び挑戦するための意欲も奪ってしまいます。こうしたセリフに気づいて自分を客観的に見るためのワークです。第2回では、自分を勇気づけるための言葉を選んでもらいました。書道のように墨と筆で描いてもいい、書道のように墨と筆で描いてもいい、書道のように墨と筆で描いてもいい、書道のように墨と筆で描いてもいい。そしてそれを携帯電話の待ち受けにしてもいい、日常生活の中で眺めるといいうワークをしてもらいました。第3回では、自分のこれまでの人生や生活を振り返って「強みの種」について考えてもらおうワークを実施しました。第4回では、自分の心のセリフを言い換えるワークを実施しました。例えば、「臆病でダメな自分」というセリフを「慎重に行動する自分」というように変えてみるのです。第5回ではこれまでの人生の中で感謝したい相手を思い出し、その人への感謝を書き出す、さらにその感謝を伝えてみるというワークを実施しました。

こうした5つのワークを通してプログラムの効果を検証しましたが、自尊心(自分自身に価値があるという感覚)や本来感(自分は自分らしいという感覚)、環境への統制可能感などが大きく向上していました。これらの結果から、この研究で開発されたプログラムが、人間の持つポジティブな能力を高めるために、非常に有効であったことが示されました。

日本国内ではこうしたポジティブ心理学を本にした介入プログラムはほとんど報告がありませんが、欧米では今もつと注目されている研究分野の一つです。教育領域や産業領域を中心に関心が高まっており、最近では日本のビジネス雑誌などでも取り上げられるようになっていきます。この研究は「日本人らしさ」を活かした画期的な試みと言えます、今後の発展が大いに期待されます。

八千代キャンパス 人文学部 / 応用心理学部

学生21名が

NHKラジオに連続出演!



NHK 千葉放送局にて。左から北林キャスター、日本伝統文化学科4年の飯田夏美さんと小川まゆさん

NHK:「着付け体験」というのも、活動の一つなんでしょうか?」

学生:「はい、そうです。...もちろん学外に出張して行うことができます。...」

NHK:「いいんですか?え、じゃ、もし、あの、千葉放送局に来てほしいな...」

学生:「もちろん参ります。私たちが参ります!」

ということで、10月22日の出演がさらに追加されました。なかなかやるものです。

結局、出演した学生は延べで21名となりました。緊張したことと思いますが、とても良い経験になったのではないのでしょうか。まずはお疲れ様でした。

〈出演した学生の感想〉

●飯田夏美(日本伝統文化学科4年 伝統文化資料室 上記写真中央)

ご縁があつてNHK千葉放送局さんのラジオに2回出演させて頂きました。大学で学んだ事をこのような形で多くの人に知って頂けたのは私にとって、とても幸運な事でした。

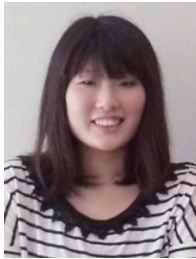
翠樟祭では声をかけて下さる方

放送日	番組名
7/2	◆NHK千葉-FMの「チバ☆スタ」 -様々なジャンルに熱中しているみなさん- ○鉄道研究同好会
9/16	◆ラジオNHK千葉放送局「まるごと千葉60分」 -まるごとキャンパスナビ- ○女子バスケットボール部 ○伝統文化資料室 ○ダンスサークル・G.S.T ○バレーボールサークル ○ecommo 八千代サークル ○女子ラククロス部 ○翠樟祭実行委員会
9/30	
10/7	
10/14	○翠樟祭実行委員会
10/22	◆NHK千葉-FMの「チバ☆スタ」 -伝統文化を楽しむ若者達- ○伝統文化資料室

も何人かいらつしやり、嬉しさと同じ時にメディアの力を身をもつて感じました。

生放送という事で、もちろん緊張はありましたが、日常に無い新鮮な刺激は心地よかったです。この経験は、自分の技術向上だけでなく後輩の技術指導にも役立てていこうと思います。

●長瀬優希(健康・スポーツ心理学科3年バレーボールサークル)



私はラジオを普段からよく聴いていましたが、実際に自分の声が

放送されることになり、とても緊張

しました。15分程度の本番時間に対して数倍もの打ち合わせ時間を要し、私たちの拙い言葉にもアナウンサーが上手く引き出してくれ、プロの凄さを間近で感じる事ができました。

私たちがいよいよ就活が始まりますが、社会に出て仕事をするという事に対して、もっと真摯に向き合うことが必要であるということを確認する良い機会になりました。

●栗本 顕(臨床心理学科2年 ecommo 八千代サークル)



この度、NHK千葉放送局の「まるごとキャンパスナビ」に出演

する機会に恵まれました。サークル活動、ecommo 八千代の紹介を通じ学生生活をいかにエンジョイしているかを話しました。メディアを通じ、キャンパスの風景を発信でき、意義深く感じました。

今後、機会があれば心象サークルのアピールもかね、私たちがどのように専門領域の学問に向き合っているか、ラジオなどを通じ学外に紹介できればと思っております。

(栗本君は心理学検定1級にもみごと合格しました。写真はその合格証を持ってのものです。)

9月16日に伝統文化資料室の学生達が出演した時、このようなやり取りがありました。

新年度が落ち着きを見せ始めた6月、NHK千葉放送局から本学生生にラジオ出演の依頼がありました。しかも、連続出演とのこと。さつそく学生達に相談すると、快く引き受けてくれました。

放送日、ハラハラしながら番組を聴いていましたが、今どきの学生はなかなか堂々としたものです。それぞれしっかりと日頃の活動の様子を紹介していました。

文化学部

「ついでに」文化(リレー掲載①)
「歌舞伎の中のついで」

准教授 青柳 祐美子

歌舞伎には子どもが登場する演目がたくさんあります。歌舞伎に登場する子どもの重要な役割には「身代り」と「子別れ」があげられます。

菅丞相と藤原時平の争いを描いた『菅原伝授手習鑑』の「寺子屋」の場に登場する小太郎は、菅丞相の書の後継者で寺子屋の師匠でもある武部源蔵に、菅丞相の忘れ形見菅秀才の身代わりとして殺されます。実は、時平の家来松王丸が、忠義に厚い源蔵が菅秀才を救うために身代りを立てるだろうことを予測して、一人息子小太郎を源蔵に殺させるために送り込んだのでした。松王丸も菅丞相に恩義を感じていたのです。切られるときに小太郎が「にっこり笑って首を差し出した」と聞いた松王丸は「持つべきものは子でござる」と号泣するのでした。『熊谷陣屋』の小次郎、『伽羅先代萩』の千松、『義経千本桜』のいのみ権太の息子善太も、親が義理を果たすために貴人の身代りとなります。

経営学部

知的資産を活用した

地域連携活動の展開

北区との間に「東京都北区商店街にぎわい再生プロジェクト推進事業」に関する協定書を締結し、区内商店街の調査についての共同研究を実施しています。前年度は北区堀船地区「梶原銀座商店街」の調査を実施しました。

①市場ポテンシャル分析(商圈設定)
メッシュ統計からハフの商圈確率モデルで商圈設定し、その課題を客観的に判断した。

②アンケート・ヒアリングの実施
商圈内居住者へのアンケート調査及び来街者へのヒアリング調査を行い商店街利用上の不満・満足を明らかにした。調査を学生に実践させることで、フィールドを活用した実践的な教育を実現させている。

③にぎわい再生への提案
調査を踏まえた課題解決策を学生と共に検討し、にぎわい再生への具体的なプロジェクトを提案した。

- ・都電荒川線沿線商店街連携プロジェクト(都電荒川線沿線商店街との連携による新しい来街者の創造)
- ・商店街公園化プロジェクト(商

店街の公園化によるあらゆる世代が交流する場の創造)

- ・商店街機能再生プロジェクト(近隣の新旧住民の日常生活をまかなう商店街機能の拡充)
- 今年度は、2つの商店街の調査を実施することになりました。
- ・「滝野川市場通り商店街」
- ・「田端駅通り商店街」

いずれも古くからある北区の代表的な商店街で、それぞれ地域活性化にとって重要な拠点となっています。その意味ではこれらの商店街の「にぎわい再生」は、北区の活性化に重要な意味を持ち、今回の調査への期待は大きくなっています。

地域が直面する問題や課題はますます複雑かつ多様化しており、そのような問題解決に対して地域の知的活動の拠点として大学が主体的に関わっていく必要が出てきています。また大学にとっても、地域を教育のフィールドとして活用することにより、特色ある実践的・効果的な教育を行うことができます。その意味では、地域連携活動は、教育活動、研究活動と並んで、大学の重要な機能として位置づけられるようになってきており、経営学部としては、今後より一層力をいれていきたいと考えています。

短期大学 言語文化「コミュニケーション科」幼児教育科

言語文化「コミュニケーション科」

国内旅行業務取扱管理者試験に

合格！

9月11日に実施された、今年度の「国内旅行業務取扱管理者」試験の結果が発表になり、1年生の渋谷奏美さんが合格しました。今年度は18373人が受験し、トータルの合格率は35.9%、昨年は18693人の受験で、合格率が40.1%だったのと比較すると、合格率が下がり、やや難度が上がったと思われます。

知識・経験の蓄積量がモノを言う試験ということもあり、19歳以下の合格者の占める割合は全体の23.1%となつていきますので、短大の学生にとつては、かなりの難関であることは間違いありません。

今年も対策授業の「旅行業資格対策」や「観光地理」の他、夏期集中講座・直前講座など行ってきましたが、1年生の場合、短大入学後、半年も経たずの挑戦なので、毎年のことではあります。かなり頑張った成果であると言えます。

合格者だけではなく、残念ながら不合格だった人も、学習して身につけた知識などが無駄になるもので

はありませんので、今後の就職活動や他の希望資格挑戦に取り組んでいてもらいたいと思います。

伊藤園おくいお茶新俳句大賞

佳作特別賞受賞！

第22回伊藤園おくいお茶新俳句大賞で、2年生の佐藤綾梨さんが「佳作特別賞」を受賞しました。

冬めいて

ミントグリーンの

木の扉

応募作品数は約171万3000句で、入賞作はそのうち2000作にすぎません。やがて彼女の作品がお茶のパッケージに掲載され、皆さんの目に留まることがあるでしょう。

ホテルビジネス実務検定に合格！

2011年度第1回のホテルビジネス実務検定のベシックレベル2級に、3名が合格しました。1年生の岡田沙梨さん、高梨友紀さん、米山菜摘さんです。ベシックレベルとはいえ、1年生での合格は素晴らしいことだと思われます。

幼児教育科

第25回保育研修会（11月13日）

この研修会は、実習生の受入れ先や卒業生の就職先、そして地域の幼稚園・保育所に向けて保育に関する最新情報の発信と保育技術の指導を目的として企画・実施しています。また、本学の卒業生に対しては、リカレント教育と交流の場として参加を呼びかけています。卒業生が保育者として元気に頑張っている様子を知ることができ、有意義な一日となりました。

恒例のオープニング・コンサートでは、二期会オペラ研修所優秀賞・激励賞の佐藤奈加子先生（ソプラノ）と日本アンサンブルコンクール優秀演奏者賞の本学非常勤講師の西尾杏子先生（ピアノ）による『あすという日』（震災以降のYoutubeで放映）を始め、金子みすゞ詩による童謡歌曲集「ほしとたんぽぽ」が演奏されました。

午前の部は『これからの時代、保育者に求められる力とは』という講演テーマのもと河邊貴子先生から、保育の社会的価値・使命を、教育基本法や学校教育法から見詰め直し、社会の変化に対応した指導について、震災を体験した「今」だからこ

そ主役である子どもの生活をどのようにに生き生きと展開されるべきか、熱心なお話がありました。

午後の部は分科会に別れました。第1分科会『幼保一体化の方向は』は、渡邊郁美先生による、認定四谷子ども園の園長の立場からの提言、第2分科会『保幼小連携の実際（要録等の情報交換を通して）』は、保育園長の若山剛先生、小学校長の小野将和先生、保育課長の小柳栄先生による児童保育要録の書き方など、第3分科会『絵はカメレオンのように』は、元子ども美術館長の浜松繁雄先生による、具体的な実技を通じた指導の講習が行われました。



当日の受付



講演会場（多目的ホール）



第3分科会『絵はカメレオンのように』

中高一貫部

第1学年校外学習
〜高尾山登山〜

平成23年11月10日(木)、週間天気予報では雨マークとなっていました。薄日が指す絶好の登山日和となりました。

朝7時15分、笑顔が眩しい173名の生徒と引率教員13名、メンタルフレンドの大学院生2名で高尾山に出発！バスの中も楽しいおしゃべりがいっぱいだったので、雨天時コースの日本科学未来館と東京湾遊覧船へのキャンセルの電話の音が、聞き取れないほどでした。



約1時間30分の稲荷山コースから山頂を目指しました。山を知り尽くした数学科青木教諭の指導の下、怪我もなく無事山頂へ到着。また、私は車椅子の生徒と体調を崩している生徒と一緒にケーブルカーで中腹まで行き、そこから、汗をかきかき、教頭代行として引率した増澤教諭と交互に車椅子を押ししていきました。車椅子の生徒は腕を一生懸命使って頑張っていましたし、体調不良の生徒達も、皆で励まし合いながら、稲荷山コースから登った本隊

とほぼ同時刻に到着。そして、参加生徒全員が、高尾山山頂に立ちました。皆で食べたお弁当は、それはそれは美味しかったことでしょう。



下山はクラスごとにのんびりと薬王院、さる園と、楽しくおしゃべりしながら下りました。おみくじをして、お団子を食べ、さるに餌をあげて、またお団子食べてと、高尾山を十分に満喫していました。最後はケーブルカーまたはエコリーフトです。どちらにするか悩みどころ。日本最高勾配を体感できるケーブルカーを選ぶか、美しい樹林を眺

めながら空中散歩するエコリーフトを選ぶか、本当に楽しいひとときを過ごしていました。

『仲間たちと同じ目的をもって汗を流したり切磋琢磨したりすることで、充実した学校生活を送ることができ、思い出もたくさんつくれます。それが、将来の自分の生活を支える力にもなっています』(愛読書、尾木直樹さんの一文より)。

(文責 学年主任 吉川直樹)



高等部

「どくしょ甲子園」奨励賞受賞

高校生に読書会の成果を一枚の「どくしょボード」に表現してもらおうコンクール「第2回どくしょ甲子園(主催・朝日新聞社)」が行われ、本校から3チームが応募しました。

全国から506点の応募があった中で最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞3点が決まり、本校の下木チーム(課題図書「夏の庭」)が、見事奨励賞に輝きました。

4〜5人程度のチームを編成し、仲間と一緒に同じ本を読み、読書会を開きます。受賞チームの1年I組下木僚太君、小俣和輝君、赤平賢人君、飯塚千優さん、浅古愛実さんにお話を伺いました。



表彰を受けた下木チーム「おめでとう」朝日新聞社提供 撮影者(首藤幹夫)

Q. 「どくしょ甲子園」に応募しようと思った動機は?

下木 朝日新聞に掲載されることと、最優秀賞は5万円の図書カードがもらえるということ(笑)……、軽い気持ちでやってみようと思いましたが。

Q. 読書会はどのようにおこなわれたの?

浅古 最初は印象に残ったシーンやフレーズをあげていきました。そのうちだんだん脱線してきて……、人は死んだらどうなるのだろうか、魂は死んだらどこに行くのか、死が残された人にとってどんな意味を持つのかなど、時間を忘れて夢中で話し合っていました。

Q. 読書会を終えた後、自分の気持ちや仲間との関係に変化があった?

飯塚 読書会を通して、共感したり、自分とは違う考えをすばらしいと思ったり、お互いを尊重できるようにになりました。より一層仲良くなることができました。

Q. 「どくしょボード」の作成でこだわった点は?

赤平 キャッチコピーはみんなで

意見を出し合い決めました。さまざまな表現ができる手書きにもこだわりました。イラストでは鮮やかな葡萄と淡いコスモスを対照的に描き、選考委員の先生に褒められました。



どくしょボードはホームページからご覧になれます。
http://www.asahi.com/shimbun/dokusho/koshien/



朝日新聞社提供 撮影者(首藤幹夫)

Q. 直木賞作家の道尾秀介さんにお会いして?

小俣 物事の経験の差や世代の違いを感じ

じ、衝撃をうけました。「夏の庭」は「10年後、20年後……もう一度読んで、感じ方の違いを実感してほしい。」というメッセージをいただきました。作家さんの物事を伝え、表現するパワーを感じました。

Q. 茶話会で他校の生徒とどのような話をしましたか?

赤平 最優秀賞の先輩から、「どくしょボード」を作成時のパソコンの技術を教えていただきました。メールアドレスも交換したので、今後も交流を深めていきたいと思えます。

本を読み語り合うことから新しい絆も生まれたようですね。ありがとうございました。

「読書会」の魅力は、一人で読む「孤読」ではなく、仲間と「共読」できる楽しさです。(姜尚中さん談) 仲間と共に本を読んで、大いに語り合っ、心のエネルギーを蓄えてください。そして、「どくしょ甲子園」に応募しましょう。

深谷高校

中学生に好評「出前授業」

地域社会に開かれた学校を目指して深谷高校では、地元深谷市内の中学校に「出前授業」を実施しています。11月24日(木)の幡羅中学校には、英語科から中里・井上の各先生方、12月8日(木)の深谷南中学校には、英語科柳田・理科川瀬の各先生方を派遣しました。幡羅中の生徒の「出前授業」に参加しての感想を、一部紹介します。

●「先生が面白かったです。イスの上に立たされたりして、初めはビックリしたけど、大きな声を出すことで覚えるんだということを知りました。単語選びということなど、様々なことがわかりました。成徳に入ったら色々楽しめそうだなと思いました。そして、何よりも授業が分かり易く、楽しく出来そうだなと思いました。」

●「私は英語が大の苦手なので、最初は英語が大の苦手だけれども大丈夫かなと不安になりながらも配られたプリントを見つめていました。でも基本から分かりやすく教えていただいて、今まで足を引っぱっていた部分まで理解す



英語出前授業

ることができました。すごく分かりやすかった上に、楽しく授業を受けることができてとてもうれしかったです。苦手だった英語も好きになりました。ありがとうございました。」

●「英語の授業がすごくおもしろかったです。普段の授業よりも短く感じました。先生の声の大きさはすごかったです。とても驚きました。他にも雑談みたいな話はおもしろかったです。高校の授業の楽しさがとてもよくわかりました。成徳の先生による出前授業が受けられて、良かったです。ますます受験に向けて勉強する気になりました。」

中学校や塾の先生にも

好評だった「授業見学会」

そして今年度は、新たな試みとして、11月5日(土)に、本校の先生方が中学校・塾の先生方や保護者の方を対象に、「授業見学会」を実施しました。当日は、全コースの生徒を対象に各教科の先生方が授業を公開しました。ここで授業終了後の感想を紹介します。

●リーディング：井上先生

「細かい指導で、わかりやすい授業だと思いました。文法のテクニクなど、かなり研究されているようにした。」

「丁寧なご指導に総合的な学力の充実へ結びついていく印象を受けました。」

●国語総合：相澤先生

「板書がとても美しく、その意味でも日本語の美」を生徒さんに伝えていらっしやる気がいたしました。」

●音楽技術：立花先生

「1人1台のピアノを使用して、無駄なく指導の充実が図られていると思います。」

「先生と生徒とのコミュニケーションがすばらしく、数字では表せない評価であると思います。」

●化学：山田先生

「非常に丁寧で板書も見やすく、テンポが良いです。無駄な言葉がないからだと思います。生徒・教室をよく見えています。」

「板書が見やすく、指示も明確でした。後でノートを見たときに、復習しやすいと感じました。ありがとうございました。」

●ライティング：松浦先生

「非常に論理的な指導だと思いました。単語の使い方、並び方など覚えなければいけないことへの厳しさが良いと思います。」

●日本史：富岡先生

「柔らかい物腰で分かりやすい授業でした。説明の中にも生徒への確認を終始行い、生徒とのやりとりが一番多い授業でした。」



理科出前授業

幼稚園

王子消防署見学 年長組

11月28日、29日、子どもたちが心待ちにしていた地域の王子消防署見学に行ってきました。



「消防士さんは毎日どんな仕事をしているのか」「火の扱い方や火事の怖さ」等たくさんの話を聞くことが出来ました。その中で、消防署にはいろいろな仕事がある事やそれぞれ役割がある車があることも知ることができ、中でも一番驚いたのは、消防士による火事や事故で出動するとき重い消防服に一分で着替え消防車に乗り込む所を実演していただいたことです。すると「すごい」「1分かかってないよ」と憧れのまなざしと驚きと興奮で一杯の子ども達でした。いつも訓練し、みんなが安心して生活できる様守ってください

さっている事に感謝の気持ちも持って、大変貴重な体験をしました。

飾がなされとても綺麗です。

司会のサンタガールやトナカイさんが登場して、さあ始まりです。子どもたちは「サンタクロースさんはもうきているのかな」「鈴の音が聞こえるよ、だんだん近づいてる」と、サンタクロースに会えるのをどきどき、わくわくしながら、盛り上がる雰囲気の中、役員やコーラスのお母様方も賛助出演いただき、一緒に楽しんでいました。

先生が演じる「あかずきんちゃん」の劇に大声援を送ったり、キャンドルサービスの優しい灯りに包まれながら、待ちに待ったサンタクロースがやってきて年少一人一人にプレゼントを渡し、頂いた時の表情はキラキラと輝いていました。

クリスマス会



12月16日、中高一貫部アリーナにおいて少し早いクリスマス会を行いました。会場には先生たちが飾り付けた大きなクリスマスツリーや装飾がなされとても綺麗です。

第二幼稚園

中学生とのふれあい

10月28日に、埼玉大学附属中学校の2年生が来園しました。これは、幼児の発達や興味関心に応じたかわり方などについて体験的に学ぶことを目的とするものでした。

最初は戸惑い気味で緊張していた中学生も、素直であどけない子どもたちと遊ぶうちにすっかり打ち解けていきました。一方、子どもたちは中学生のお兄さん、お姉さんに抱っこやおんぶをしてもらったり、一緒にあって現在流行中の「マル・モリ・モリ!」のダンスを踊ったりするなどして、楽しいひと時を過ごすことができました。



この日一日、子どもたちは年齢の離れた中学生との交流を通して、あこがれや思いやりなどの心を培うことができました。

お餅つき会



12月14日、本園恒例の餅つき会が、入間川部屋の2力士をお迎えして盛大に行われました。

まずは質問コーナーです。「どうしてお相撲さんは裸なのですか」「なぜ、ちゃんこばかり食べるのですか」などの素朴な質問に対し、「武器を持たないで、正々堂々と戦うためだよ」、「お相撲さんが食べる物は、カレーでもハンバーグでもみんなちゃんこと呼ぶんだよ」などと教えていただきました。次は、お待ちかねのお餅つきとお相撲です。子どもたちはみんなで声を合わせて、「いち、に、さん」と、力いっぱい杵を打ち下ろしていただきました。また、お相撲では、グループごとに分かれて、押したり引いたり逃げたり泣いたり笑ったりしながら土俵の上を駆け回っていました。

高校	
サッカー部 (女子)	
全国高校女子サッカー選手権大会 東京都予選セカンドトーナメント	準優勝
バトン部	
第46回マーチングバンド・バトントワーリング関東大会	
バトントワーリング部門・高等学校の部 (バトン編成)	金賞
第39回マーチングバンド・バトントワーリング全国大会	
バトントワーリング部門・高等学校の部 (バトン編成)	銀賞
ラクロス部 (女子)	
オータムカップ	準優勝
バスケットボール部 (女子)	
山口国体に6名が少年女子「東京チーム」として出場。	ベスト8 (第5位)
テニス部	
足立区民大会男子シングル 16歳以下の部	優勝
男子ダブルス	優勝
卓球部	
TOKYO OPEN 2012 第64回東京卓球選手権大会 (ジュニア男子) に2名が代表に選出。大会は3月14日～18日に行われます。	
深谷高校	
バレーボール部 (女子)	
第64回全日本バレーボール高等学校選手権大会埼玉県予選	ベスト8
パワーリフティング部 石原悠貴さん	
世界ジュニアパワーリフティング選手権	総合6位 ※デットリフトで3位入賞
中学校	
バスケットボール部 (女子)	
第62回東京都中学校バスケットボール新人大会	優勝

訃報

下山武士元監事

平成23年6月1日に逝去されました。財団法人学校福祉協会を運営する傍ら昭和61年から学園の監事に就任。理事を経て平成22年5月まで監事を務められました。享年86歳
菅澤喜八郎評議員

平成23年8月10日に逝去されました。昭和32年4月に学園に奉職され、中学校・高校や短期大学において教鞭を執られました。また、学園の常務理事、評議員、高校校長、第二幼稚園長を歴任し、学園の発展に尽力されました。享年78歳

馬淵和夫名誉教授 (短大)

平成23年11月24日に逝去されました。平成6年4月に短期大学文科国文専攻 (現・言語文化コミュニケーションシヨン科) に専攻長として就任、学園では理事、評議員を務め、平成15年3月まで科長を務められました。享年93歳

学園に多大な功績のあった三氏の逝去を悼むとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

東京成徳広報30号訂正

5ページ 学園人事 昇任・異動

大学八千代事務局配属先

松井貴子 [誤] 大学院図書室

[正] 学生支援課

道堀嘉奈子 [誤] 事務室

[正] 総合事務室

22ページ 公開講座 東京成徳大学八千代キャンパス

[誤] 「身体運動が能に与える影響」

[正] 「身体運動が脳に与える影響」

[正] 「身体運動が脳に与える影響」

23ページ ニュース 大学人文学部

[誤] 薄田泣菫 (すすきだ きゆんきん)

[正] 薄田泣菫 (すすきだ きゆうきん)

24ページ 東京成徳短期大学

[誤] <http://www.tsc-mobile.com>

[正] <http://www.tsc-mobile.jp>

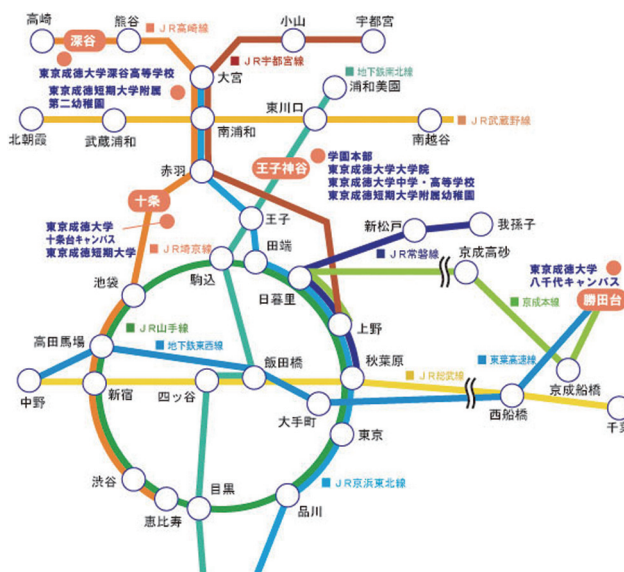
説明会日程の一部に誤りがあり、ご迷惑をおかけ致しました。

平成 24 年入試カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22 ・高校 ・深谷高 ・短大 ・大学	23	24	25 ・深谷高	26	27	28 ・大学院 修士課程
29 ・大学院 博士後期課程	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
2月						
			1 ・中学 ・短大 ・大学	2 ・中学	3 ・中学	4
5	6	7	8	9	10 ・高校 ・深谷高	11
12	13	14 ・高校 ・短大 ・大学	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28 ・大学	29			

日	月	火	水	木	金	土
3月						
4	5	6	7	8	9 ・大学(人文、 応用心理、 経営のみ)	10
11	12 ・深谷高	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



※最新の情報については各校ホームページ等でご確認ください。

学校法人 **東京成徳学園** <http://www.tokyoseitoku.ac.jp>

東京成徳大学大学院 <http://www.tsu.ac.jp/gra> 電話 03-3927-4116

東京成徳大学 <http://www.tsu.ac.jp> **PC**
<http://www.tsu-mobile.com> **携帯**
 人文学部 応用心理学部 八千代キャンパス入試・広報センター
 子ども学部 経営学部 十条台キャンパス入学課



電話 047-488-1000 (直通)
 電話 03-3908-4566 (直通)

東京成徳短期大学 <http://www.tsc.ac.jp> **PC**
<http://www.tsc-mobile.jp> **携帯**
 十条台キャンパス入学課



電話 03-3908-4566 (直通)

東京成徳大学中学・高等学校

中高一貫部 <http://www.tokyoseitoku.jp/js> 電話 03-3911-2786
 高等部 <http://www.tokyoseitoku.jp/hs> 電話 03-3911-5196

東京成徳大学深谷高等学校 <http://www.tsfh.jp> 電話 048-571-1303

東京成徳短期大学附属幼稚園 <http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind> 電話 03-3911-6337

東京成徳短期大学附属第二幼稚園 <http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind> 電話 048-854-2151

東京成徳スイミングスクール 電話 03-3914-2383